

議会報告会集約意見（会場参加者からの意見）

【議会に対すること】

- ・新嵐山は町の顔。こういう事態になる前になぜ報告会をしなかったのか。議会が結果論ばかり。
- ・議会は町民の声を否決する前に聞いてきたのか。
- ・議長が新人議員に反対に回るよう指示したとの噂は本当か。
- ・再開の目途が立たなくなるのではないかという不安がある。今後の指定管理のスケジュールと維持管理についての説明はあったのか？
- ・施設の劣化、環境整備費用、リフトの再開費用、今回の支援金より上回る税金が投入されるのではないか、想像出来なかったのか？その理解の上での判断か。
- ・経営改善のため客単価を上げる提案が議会にはなかったのか。
- ・止めたものを動かすのは大変。5,200万円では済まない。何億とかかる。未来のことを考えて欲しい。
- ・100%町の出資金の会社なのに、なぜ町議会は介入できないのか。
- ・従業員のことが気になる。解雇され、雇用問題、法的に問題はないのか。法的に町が出来ること、議会が出来ることはないか。
- ・一般町民はこの結果を否定的に思い、意見が届いている。継続してほしい、困っている。嵐山に対する良かったという声は議会に届いていたか、現場スタッフが聞いている町民の声を議員はヒアリングしてきたか。
- ・売り上げに対しての人件費など町民が知らないことがある。正職員 26 名、パート職員 10 名、町民に知らすべきだ。10,000 円の売り上げに人件費 9,700 円かかっている。民間企業では考えられない。議会はもっと説明してほしい。
- ・嵐山のあり方について機運が高まった中でのストップだが、町民が支援金を出しても良いと言えれば結果は変わったのか？芽室町の観光を議会の思いでストップさせた。
- ・借金はするが来年度に向けて運営をするかしないか判断して下さいなど、町民に向けてインフォメーションしてほしい。
- ・近い未来、また 50 年先を見据えて、嵐山を育てていく。子どもたちの冬の活動をどうするのか。案はどうなっているのか。
- ・継続して残すことを優先する議論はなかったのか。
- ・議員の責任もあるということはどう責任をとるのか。
- ・今の段階で再生出来るとの認識か。

- ・多くの町民の話を聞いてきたのか。賛否を知りたい。
- ・改革中、コロナ明け、なぜ今嵐山を切るのか。
- ・今回は否決、今後予算をつけ再開するのに賛成するのか。
- ・今回の責任の取り方をどう考えているのか。
- ・細かい数字を見た中で結論をだしたのか。
- ・嵐山は町の財産。議会の動きよく分かった。
- ・町と議会の関係、会社の自助努力はどうだったのか。
- ・今までの経過、今後の見通し、予算の使い方、説明してください。
- ・今の状況で誰が責任をとるのか議会で追求しないのか。
- ・今後の展望を、どのくらいの経費でどのような再開を検討しているのか、展望があって倒産となったのか。
- ・これまでもホットボイスや自分ごと化会議などの意見が出ていたが、反映されなかった。閉鎖に向けての意見はなかったはず、早めに事実を知りたかった。
- ・提言書を出す前に、十分な予算を出して、施設やスキー場の再生を求めても良かっただろう。
- ・会社の責任はなかったのか。この状態を誰がどう責任をとるのか。誰も辞表を出さないっていう事か。
- ・指定管理委託料の積算と実績の乖離について、精査追求すべきだった。
- ・4年前から新嵐山について討議している。今回の否決は仕方がない。嵐山を再生しよう。
- ・町が何かを提案するより、議会として提案すべきでは。思いきった嵐山、施設の充実する議会提案を。
- ・委託管理費の内容が分かりにくい、不足分など不明。年間管理料も同様。議会に説明はあったのか。3年間赤字を放置したことは議会に説明あったのか。
- ・議会の判断は間違いなかった。資源を有効に再生に向けて使ってほしい。
- ・職員の将来ビジョンまで寄り添い考えて採決してほしかった。休止する事で、従業員の家庭生活も奪った。議員も経営センスが必要。長期的なビジョンを持って議会も提案すべき
- ・頑張ってきたのに急に解雇と言われ放り出された。責任を感じているのか。嵐山で働いていて楽しかった。29日に社長が来て解雇と言われた。10月10日までボランティアでやってくれと言われた。何とか日当はもらった。精一杯最後まで務めた。議会は会社が悪いと言っている。貧乏な会社だと、赤字だから分かっていたが会社の存在分かっていない。
- ・はしごを外された気持ち。放漫経営をもっと指摘するべきだった。

【運営会社に関すること】

- ・金融機関から誰が保証人で何を担保に、どの位借りているのか。
- ・過去5年粉飾決算じゃないのか。今になってこれを示すのはおかしいのでは。
- ・直営と委託のメリット、デメリットは。指定管理者制度に移行した経緯は。
- ・どうして管理委託となったのか。直営のメリットをどう判断し、なぜ委託となったのか。

【スキー場に関すること】

- ・スキー場のナイター来場者は少ない。R3スキー部門でリフト乗降者減っているのに、なぜ収入が増えているのか（これは過去、議員とかその知り合いがタダでリフトに乗っていたのを止めてからと聞いているが）。
- ・ナイターを中止することが合理的ではないと却下されたのはなぜか。
- ・会社はスキースクールにいくら払っているのか。
- ・今シーズンスキー場はロープを張って立ち入り禁止、歩くスキーとかリフト乗らず担いでスキーをする場を奪うのか。
- ・スキー関係者、スノーボード、一つの文化で、このスキー場は十勝管内のものだ。一方的に止めるのは問題だ。個人的にスキー場だけでも運営してほしい。1月中だけでもスキー場をオープンしてください。
- ・スキー場の再開を帯広市民も希望している。

【新嵐山の今後に関すること】

- ・本来は町か会社が説明してしかるべき内容、今後開催されるのか？
- ・今後運営が再開されるか不安と不信感がある。
- ・町と議会と町民を巻き込んで懇談の場があることを期待する。
- ・廃止に驚いた。今年度の議会の動きは理解したが、赤字が続いていた時、町と議会はどう対応していたのか疑問。3セクの自助努力に疑念。次の委託先が決まるまでの段階的な見通しと予算の使い方合わせた上で廃止の説明なら納得出来た。今後の経過について町民に知らせしてほしい。
- ・管理者がいない状況だが、今後の維持管理はどうなるのか。
- ・宿泊部門の方向性について、マイナスだから廃止にするのか、活気のために残すのか。今後、未来ある嵐山にしてほしい。
- ・これからどうするのか。スキー場部門、宿泊部門、キャンプ場、マイナス部門をどう捉えるのか。宿泊部門廃止するとか聞こえてくるが。部門別でどうするか対策は難しい方向性となる。
- ・今回のことで、町の魅力を失いあきらめの気持ちがある。今後の動きを早めに発信してほしい。